

こんな活動です

# 学校は子どもと住民の学びの共同体 —「地域交流室」を中心に学校をデザインする—

山口県長門市		●活動名 学校と地域をつなぐ協議会				●関係する学校名 長門市立油谷小学校	
協働活動開始年度	平成 23 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	8 学級	のべ児童・生徒数	123 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		地域人材育成			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数			
	—			1人			
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	
	平成20年4月1日設置			260人			
参考URL	—						
●連絡先	長門市教育委員会生涯学習スポーツ振興課			☎	0837-23-1259		

## 体制図



●活動の概要・経緯  
平成20年から学校運営協議会を設置して10年を経過。また平成24年から公民館を軸に、子どもの育成に係る団体や個人が柔らかなネットワークを組んで、地域総がかりで子どもをはぐみ育てる「地域協育ネット」に取り組んできた。その結果として学校運営協議会(学校)と油谷地域協育ネット(公民館)とは車の両輪として、学校支援・学校運営に関わって成果を上げてきた。そうした中で平成27年9月に学校を改築した際、「地域交流室」を設置し、ここを拠点に「単なる学校支援を超え、学校と地域との連携・協働—学校を核とした地域づくり(スクール・コミュニティ)—」へとバージョンアップしていくこととなった。これまでのキャッチフレーズ「学校・教師100%+地域の力20%=120%で子どもを育てる」に加えて「学校を子どもと住民の学びの共同体にする」取組を展開。特に学校を舞台にして「地域と願いを共有し、共に響き合うトライアングル型まちづくり事業」を展開してきている。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

①多様で多くの応援団員による多彩な学校・教師・子ども支援:地域住民(107人)、おやじの会(13人)、スマイル母の会(16人)合計136人による補充学習、授業補助、個に応じた個別学習、校外学習、学校行事、環境整備、さわやかあいさつ運動、登下校安全、サマースクール等での支援②おしかけふれあい塾:公民館サークルが学習の成果をもって学校へ。給食を共にして昼休みや授業を通して子どもたちとふれあう学校支援③「地域交流室」を中心に、単なる学校支援を超えて、学校を舞台に住民の学びの場にもした、地域活性化への取組(少子・過疎・高齢化の波の中で、学校・地区社協・公民館が中核となって「地域と願いを共有し、共に響き合うトライアングル型まちづくり事業」を展開。その中心事業が「子どもと学ぼう＆カレーライスとサロンの日」である。)

### 【実施に当たっての工夫】

一番の願いは、多くの住民が気兼ねなく楽しく、どんどん学校を訪れられるようにすることである。10年間の歩みの中でそのための手立てが幾つか見つかっている。①地域を知っている公民館がコーディネーター役となり、学校への「出番」と「役割」を準備し、楽しさや有用感に訴え学校へと誘う(まずは地域で得意技を持つ方々が有効)②物事が習慣化する3要因「感情」「行動」「認知」の内、一番大切なことの感情:「楽しいだろうな」と思ってもらえるように仕組む③そして学校教職員は支持的風土をもって住民が行動:「楽しかった。また行ってみたい」と思ってもらえるように仕組む④さらに地域に役立っている自分が意識化できるように実践を「見える化」し認知:「価値あることなんだ」へと誘う⑤きめ細かく顔の見える案内・対応⑥住民の意識に合わせてバージョンアップした事業の展開⑦月1回のコーディネーター会議の開催(P-D-C-Aサイクルの重要性)等々。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

①公民館が中心となり一ータルコーディネートすることで、多くの住民が学校に集うようになってきた。②住民は「学校は地域の中にあり、学校の課題は地域の課題でもある」という意識に、反対に教師には「学校は地域の中にあり、地域の課題は学校の課題でもある」という意識が芽生えてきた。③学校へ行くのは「ねばならないから」「必要だから」ではなく、「楽しいから」へと変化してきている。④学校を核(舞台)にした地域づくりの取組は住民サイドが連携・協働して企画・運営しており、自立した地域社会の基盤の構築や活性化に寄与している。⑤教師は100%で子どもの教育に専念できる体制ができ、教師の働き方改革に寄与している。⑥子どもたちの現在のみならず、将来大人になったとき「どんな力を備えていて欲しいのか」を見据えた、支援や地域づくりの取組になってきている。

## ●その他

この「学校を子どもと住民の学びの共同体に」の取組は、山口県が推進する「やまぐち型地域連携教育」の具現化の一事例として位置づけている。今後は、これを発展させて「小中一貫の取組」へとバージョンアップさせていくことの重要性を認識し、取組を始めている。



子どもも大人も一緒に学べる多様な外国語活動



油谷小レストラン(地域交流室・カレーラ